

1975. 5. 10

東京 蜘蛛談話会

去る4月6日、運営委員および若手会員が数名、新宿に集まり、本年度の談話会の活動および今後の活動の方向などについて、話し合いました。そのうちの一部は、採集会の連絡を致したように、例会などの実施を決定いたしました。

話し合ひの内容は：

- 1 採集・観察会の日程。
 - 2 例会・総会の日程。
 - 3 会員数の増員(特に、底辺の拡大について)
 - 4 会誌 KISHIDAIA の交換先と寄贈先。
 - 5 談話会としての統一的活动のテーマ。
 - 6 その他、当日に出された内容。
- でした。会場を3ヶ所と換え、延べ6時間の話しからは、少々、実りが少ないかもしれませんが、各項目について、次のように、決まり、総会にかけたかと思っております。

- 1. 第1回：5月18日(日)、西丹沢(恵泉女子学園附近)、10:00 AM. 伊七原駅集合。
- 2. 第1回：6月15日(日)、目黒区立大橋区民会館、10:00 AM ~ 4:30 PM. (今回は、総会も予定していましたが、合同ではなく、単独例会としました。)
- 3. 現在59名の会費で活動しています。底辺の拡大という談話会の~~活動~~方針の一つは、現在のところ、少し重なるものの意見が多勢を占め、現段階

では、無理に底辺の拡大を試みるのをやめようということになりました。

- 4. 従来の交換相手先としては、東亜蜘蛛学会のまた、寄贈先は、KISHIDAIA(あずま) No.1が確保している。八木匠健夫先生のとこ一つである。また、三重クモ談話会には、交換希望を申し込んだのですが、返回答がありません。当日で提案されたところは、寄贈先：八木匠健夫先生、国立国会図書館、交換先：東亜蜘蛛学会、三重クモ談話会、中部クモ談話会。

の以上、5ヶ所である。

- 5. 通信 No.3 に、私案と共に紹介しましたが、今日の話しでは2つに意見がわれました。というより、新提案があれりました。新しい意見というのは、「一ヶ所、調査地を定めて、定期的に、数名が集まり、あるいは何日かつつて、そこで、全員があるテーマについて調査する(例えば、その地域のクモの全個体数の調査)」というものです。この提案について、多くの時間と労力、いろいろ意見が出ました。断片的であるが紹介する。(いろいろの人の意見をまとめたというとして、アンケートを試みます、pp.3-4.)

意見第1：クモは興味を持って居る人で、その研究テーマを選んで出せばいい人はいないはずだから、統一テーマとして、設定するのは、理利当り。

その2. 統一テーマを決めても、何人の会員が、そのテーマを行なうことが出来るかが疑問。

その3. 学会などとはちがう会なのだから、その特典を大いに利用しなくては談話会としての存在理由がない。

その4. 地方にいる人も、中央にいる人も、皆々が参加できるとして、談話会といえる。

その5. 活動力といっても、一か所に集めて行なうだけでは、参加出来ない人にとっては、開催してはいるのと同じだ。どこにいても、できることをすることの方が大切だ。

その6. はじめから、程度の高いことをするよりも、できるだけかんたんなものを行なって、まず、まとめあげてから、段階階層を考へるべきだ。

その7. 会員の一部にしかできないことを、談話会活動とするのはおかしい。

以上。

6. 会員拡大にも使用出来るから、KISHIDAIAの総目次を作る機に、これについては、熊田憲一氏が、担当してくれます。

・ 同定会(7モ標本の)、スライド大会。については、当分、保留希望があれば、実現へ努力する。ことになりました。

・ 談話会へ、会員各位より、相当のご寄付があります。氏名の発表を希望するべきか、あるいは、記録のみで、公表はしない方がよいかどうかという点の提案については、「小さな会だから公表するのが、いけない」ということはないので、気を使わないで、公表する方がよい」ということになりました。

東京路跡談話会 例会・総会

日時: 1975年6月15日(日)

会場: 目黒区大橋区民会館

時間: 10:00 AM ~ 4:30 PM

参加料: 1人1話

(自己紹介だけでは、
終らない話)

総会: 運営委員(50
年・51年度)の承認
統一テーマについて
の意見交換
交換・寄贈図書

参加料: 200円

(昼食はもって来て下さい)

おかし、お茶の用意有。

今日はタタミの部屋です。

(しじりのきぬやさんほかが、お話し下さい)

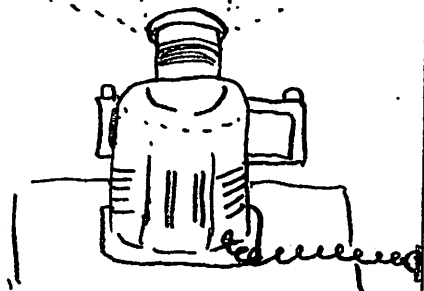
また、3委員会合同の例会

については、25名以上来て

いた方がよいと、赤字です。

よろしくお願いします。

◎特に、これ以外の連絡は致しませんが



東京味噌談話会の活動に関するアンケート

談話会では昨年、会誌 KISHIDAIA に関するアンケート調査を行ないました結果、多くの方々より貴重なご意見をいただくことができました。今回は会誌以外の談話会活動についてのアンケート調査を行うことにいたしました。談話会の活動としては、従来、例会・合同例会(多足親懇談会・サワラ会との)・採集観察会・夏期採集会(合宿)などを開催して来ましたが、昨年は合同例会・採集観察会が1回ずつ、夏期合宿は開くことができません。数名の方よりおしかりをいただきました。しかしながら、採集会の参加人員は10名前後(最低は6名)のことが多く、(合同例会は毎回30名近くの方々が参加して下さっています)開いてもあまり意味がないように思われることがあり、今後は例会のみでもよいなどの意見も出ておりますが、運営委員会といたしましては、できるだけ活発な活動をしたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

アンケート。(回答は同封の用紙に)

A. 例会について.

1. 合同例会だけではない。
2. 合同と単独の両方を開く。
3. 単独例会だけではない。

B. 年に何回ぐらい必要か.

- A-1. 合同例会 () 回。
A-2. 合同 () 回。単独 () 回。
A-3. 単独 () 回。

C. 採集会について.

1. 春と秋の2回だけではない。
2. 四季それぞれ開く。
3. 必要ない。
4. その他。(回答用紙にお書き下さい)

D. 夏期合宿(3~4日間)と懇親会と採集会)について.

1. 夏期に1~2回は開いた方がよい。(1回、2回に0もつづ)
2. 夏期以外に土・日曜にかけて春・秋にも行なう。(土・日)
3. 必要ない。
4. その他。(回答用紙に具体的にお願いします)

E. 標本同定会の開催について(夏に1回)

1. 開いた方がよい。
2. 必要ない。

F. 談話会では例会・採集会などに出席できない地方の会員の方々にも参加してもらえようという全国統一テーマによる研究を行なうこととを検討しております。(通巻No.3, No.5 参照)。

もしこのようなテーマが考えられたら。

1. 協力する。
2. 協力できない。
3. テーマによる。

(4ページに続く)

G. Pの1/3に0卵の方のみ. 研究としては.

1. 生態・習性の調査. (例) 十かこがネフモの個の高さや, 糸の数の測定; ヒメアオンの花の上にいるフモの調査. 等.
2. faunaの調査: (例) 各地方の会館が, 同一の日に採集を行ない, 結果を集計する; 特定地域(道路を以て500m向など)のフモの全個体数調査など.
3. 生活史の共同調査: (例) 各人が好きなフモを選び, 同一のフモを九州・大阪・東京など地域を変えて見る.
4. 生態・分布以外のものが多い.
5. いくつかをまとめて行なう.
6. 同時進行にして, 好きなテーマを選ぶ.

H. この意見交換・談話会に対する注文でも文句でも何でも書いて下さい.

例会・採集会に関しては運営委員の間では次のような意見も出ておられる.

例会について: 会場を決めておいて毎月3日(日)には必ず小例会(談話会)を開き, 当日都合の良い方は出てもらえるようにする.

夏期合宿について: 6~7月とって関東地方以外にも調査に出かける.

談話会・採集会・標本同定会の合せたもの: 集会所(旅館・国民宿舎・青年の家など)を定めておいて毎月1回(あるいは2ヵ月に1回)土曜日にかけて採集会を開き, 1時間はその地域を中心にして, 生態観察・fauna調査を行ない, 同時に談話会(土曜日は)や標本同定会も行なう. 次の時は別の地域に調査地を移す.

5月18日の採集観察会, 6月15日の単独例会・総会. 上記アンケートに, 宜しくご協力下さい.

東京蜘蛛談話会.

本部: 191. 日野市豊田1896 豊嶋泉氏. 0425-81-7128

編集局: 211 川崎市中原区小杉町1-540 小野展嗣氏.

044-722-2225

事務局: 187. 小平市学園東町25-31 高平誠治氏.